



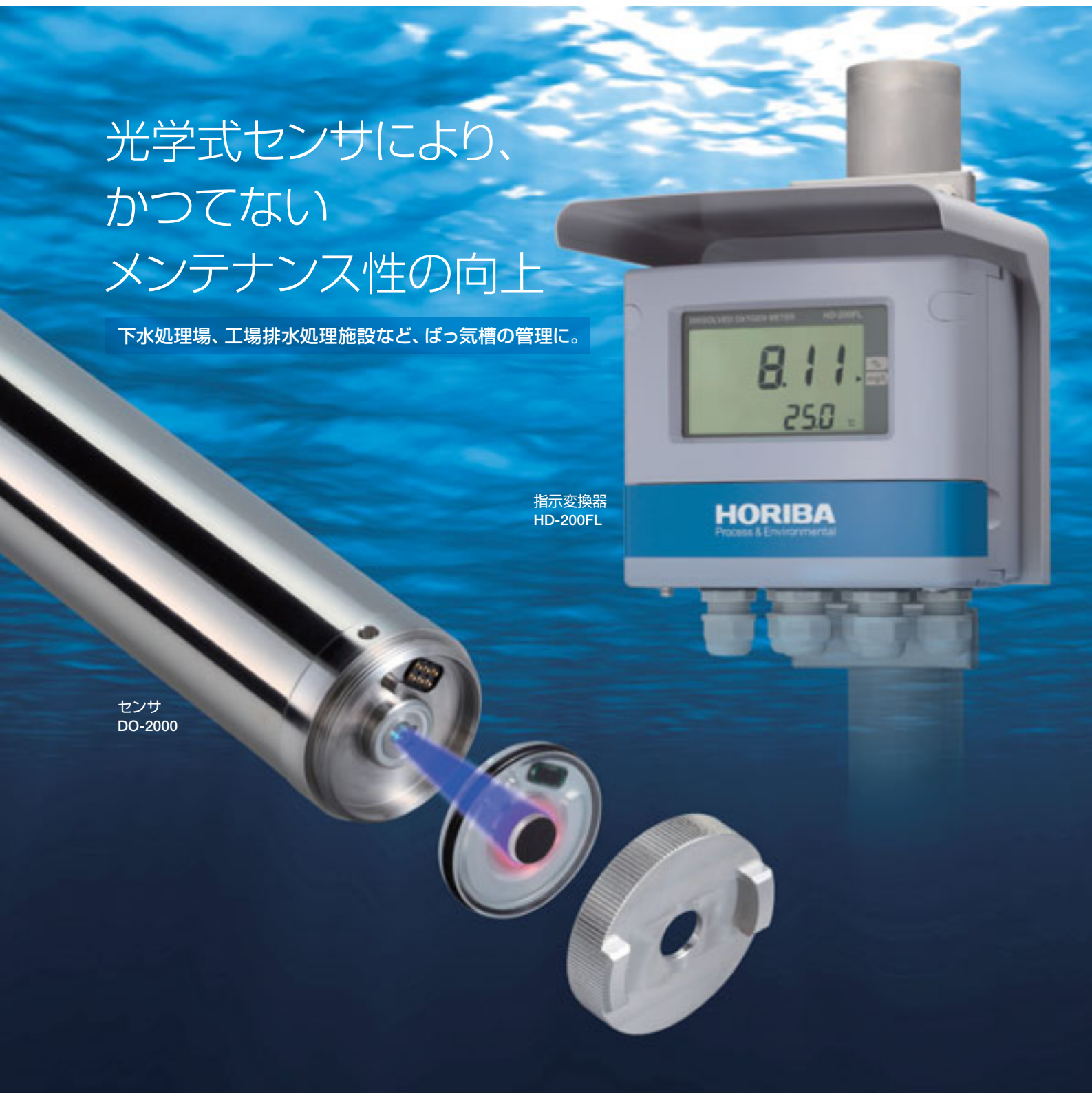
現場形 工業用水質計 **H-1シリーズ**
工業用光学式溶存酸素計
HD-200FL

光学式センサにより、
かつてない
メンテナンス性の向上

下水処理場、工場排水処理施設など、ばっ気槽の管理に。

指示変換器
HD-200FL

センサ
DO-2000



電解液交換や隔膜破れのない光学式溶存酸素センサ。

センサキャップ交換時の膜特性を自動認識するなど、さらに機能性を充実。



指示変換器
HD-200FL

センサ
DO-2000

Tough

〈堅牢性〉

- 隔膜破れなし
- 流速影響を受けない
- 妨害影響の低減
- 長寿命LED光源 (10年以上)

Easy maintenance

〈保守性〉

- 膜交換周期延長
- 電解液不使用
 - ▶ 交換・劣化の心配無し
- 校正周期延長
 - ▶ 低ドリフト
- ウォーミングアップ時間不要

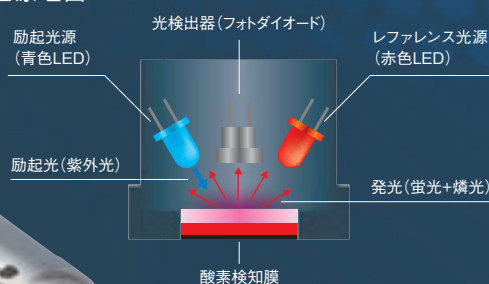
Intelligence

〈機能性〉

- 膜交換時期お知らせ機能
 - ▶ 発光回数をカウント
- 自己診断機能
 - ▶ 光源異常、膜検知異常など
- センサキャップ (蛍光膜) 交換時のパラメータ自動認識
 - ▶ メモリ内蔵センサキャップ

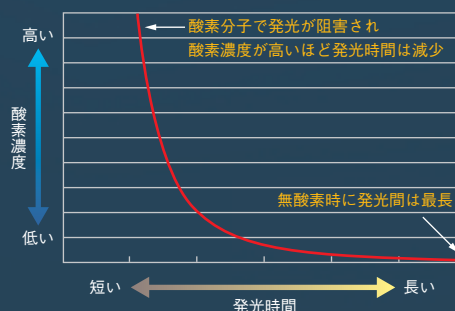
光学式DOセンサ 原理・構造

■ 原理図



■ 測定原理

特殊な蛍光物質を含有した酸素検知膜に励起光を照射すると、蛍光を発光します。発光強度は無酸素の場合、最も強くなり、酸素分子が存在すると消光作用により、低下します。発光強度の強弱は、発光時間にも同じ関係が見られ、無酸素の場合に最も長く、酸素分子が存在すると短くなります。酸素濃度と発光時間の関係は、下図のように逆相関の関係が得られます。発光時間の測定は、位相差検知方式を採用し、センサ表面の汚れや感度変化による影響を受けにくくしています。

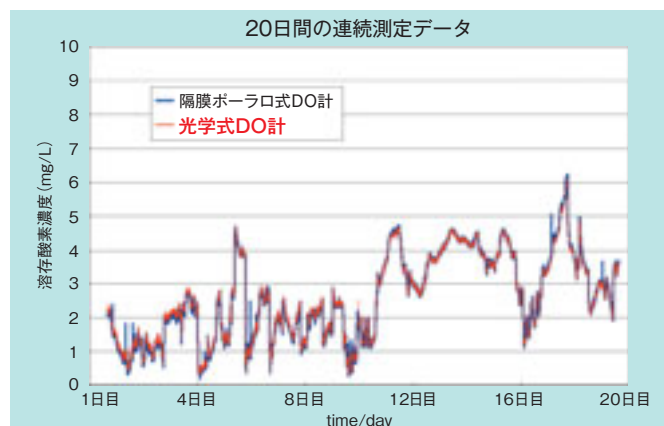


※センサキャップの寿命は、ご使用の環境により、異なる場合があります。

パラメータの自動認識により、センサキャップ（蛍光膜）交換時の膜特有の計数入力作業が不要です。



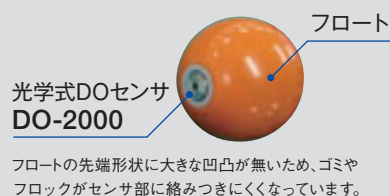
工場排水連続ばっ気槽（DOフィードバック制御無し）



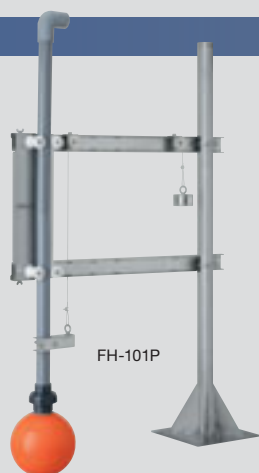
ホルダ

©フロート式ホルダ **NEW**

測定液の流速を利用した自浄作用により、汚れの堆積を防止します。



■FH-101
(垂直式)



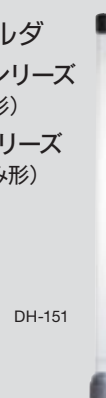
■FH-201
(傾斜式)



◎浸漬形ホルダ

■ DH-151シリーズ (差し込み形)

■ NH-15シリーズ (落とし込み形)



洗淨器



◎浸漬形ジェット洗浄器

■ JDHシリーズ

■ JH-15
(落とし込み形用)

JDH-151

アクセサリ

◎専用延長ケーブル

C-7E



◎中継ボックス

CT-25SS

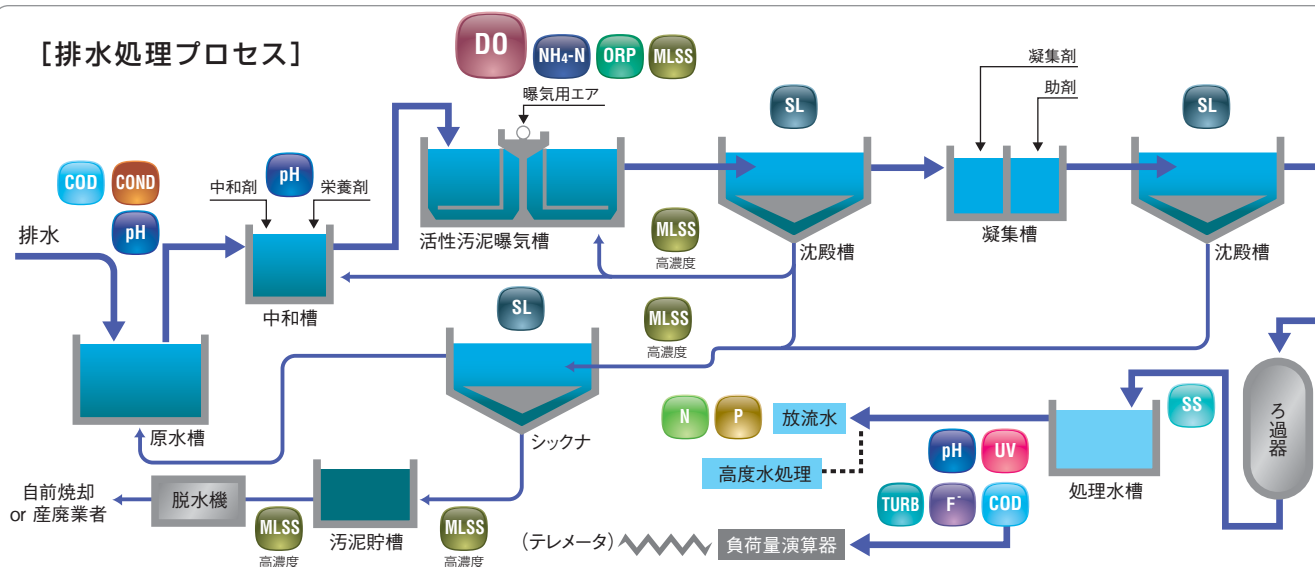


◎取付金具

■ SP-601

■ MH-60

[排水処理プロセス]



HORIBA